

海洋プラスチックごみ問題 環境省 環境白書から

海洋のプラスチック汚染が大きな問題となっており、行政の対策について環境省の環境白書から概要を紹介します。

環境白書は「持続可能な未来のための地域循環共生圏・気候変動影響への適応」と「プラスチック資源循環の取組」をテーマに作成されています。

1. 海洋プラスチックごみ問題

- ①マイクロプラスチックによる海洋生態系への影響が世界的な課題。
- ②2050年には海洋中のプラスチックごみの重量が魚の重量を超えるとの試算。
- ③プラスチックの3Rの推進。

2. プラスチック資源循環戦略

- ①プラスチック資源循環戦略の策定。
- ②「3R+Renewable」を基本原則。
- ③世界トップレベルの野心的な「マイルストーン」目指すべき方向性として設定。

3. プラスチック・スマート

- ①「プラスチック・スマート」キャンペーンの立ち上げ
- ②「プラスチック・スマート」フォーラムの立ち上げ

4. 3Rの推進・海洋プラスチック対策

- ①3Rの認知度、ごみ減量への配慮、グリーン購入に対する意識の減少
- ②物の所有にこだわらないライフスタイルも形成

5. イノベーションの推進

- ①持続可能な資源の有効利用技術の開発を支援。
- ②利用ポテンシャルの向上

6. プラスチック使用削減の取組の広がり

- ①ワンウェイのプラスチック使用削減の取り組み
- ②使い捨てプラスチック製ストロー・マドラーの廃止やプラスチック製容器包装・製品から紙・バイオマスプラスチック等への代替を実施